

## 平成31・令和元年度宮内庁調達改善計画の年度末自己評価結果（概要）

### 1 一者応札改善の取組拡充

（取り組み）

- （1）一般競争入札を実施している事案について、応札参加事業者が少ない、若しくは執行内容に変化がないなど新たに参加する事業者等を拡充させるため、入札案内を積極的に行う。

（結果）

前年度に一者応札であった案件のうち、5件の入札案件が複数者応札に改善した。

### 2 指名競争入札の改善

（取り組み）

- （1）事業者の受注能力を把握し、指名基準の見直しや指名事業者を拡充させ、より競争性のある調達に努める。

（結果）

指名事業者の事前辞退者を減少させた。また、入札に係る指名基準の見直しを図り、入札方式を一般競争入札に変更した。

### 3 調達改善に向けた審査・管理の充実

（取り組み）

- （1）歴史的資料等の複製等業務について、入札参加者の増加に向けた取組に努める。

（結果）

入札案内を積極的に行い事業者側における認知度を向上させた。また、事業委託者の現状等から入札の改善点を当庁担当者に検討させ、改善を促した。

### 4 電力調達、ガス調達の改善

（取り組み）

- （1）関西官署における低圧電力及びガス調達の競争契約への移行に努める。

（結果）

一括調達によるスケールメリットについて把握できたが、事業者側が応札参加を敬遠する要因も明らかになったことから、市場の状況等についても検証し、調達仕様を検討することとする。